

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 13-001

PDCA	事務事業名	狂犬病予防事業	部課等名	市民経済部 環境課	担当	榊原	
					内線等	332	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち 節： 第3節 生活環境の向上 基本施策： 3. 環境衛生対策 単位施策： (2) 環境衛生の維持・予防 個別施策： ③狂犬病予防					
	根拠法令等	狂犬病予防法					
	対象・目的	狂犬病の発生を予防するため、半田市内で飼育されている全ての犬に対して狂犬病予防注射を実施させる。					
	目的を達成するための手段・活動内容	市が直接行う集合注射及び愛知県獣医師会への委託により、狂犬病予防注射を実施する。また、畜犬台帳の適正化を図ることにより、市内で飼育されている犬の頭数と狂犬病予防注射の接種状況を正しく把握する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		集合注射の延べ開催回数	24	24	24	回	
		新規登録の受付件数（無償交付等を除く）	486	477	403	頭	
		高齢犬等の調査件数	109	86	87	頭	
		事業費	1,913	1,907	1,865	千円	
		人件費	2,855	3,968	3,614	千円	
		総事業費	4,768	5,875	5,479	千円	
		活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位	
		登録犬1頭あたりコスト	646	809	763	円/頭	
	成 果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位	
		狂犬病予防注射接種率	実績値	84.6	85.4	85.7	%
		目標値	90.0	90.0	90.0		
			実績値				
		目標値					
		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性 法定事務	④上位施策への貢献	—	⑦コスト削減余地	ない	
		②市民ニーズ	—	⑤成果向上の余地	ある		
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—
	事業の評価・課題	B					
		令和元年度は、市外転出者に対して、例年送付している狂犬病予防注射のお知らせハガキに、転出先での登録手続きを促す内容を加えた。また、海外転出者に対しては、転出前の所在地に親族等がいる場合は、犬の所在を把握したうえで、飼い主の変更手続きを行い、畜犬台帳の適正化を図った。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進					
		令和元年度末現在、畜犬台帳に登録している犬の頭数は7,176頭であり、令和元年度に注射を接種した犬は6,153頭だった。畜犬台帳上では、転出もしくは既に死亡している可能性が高い犬124頭、高齢、病気等の理由で注射を猶予された犬100頭の登録があった。このことから、実質、注射を接種しなければならない犬は6,952頭であり、目標値に近い約89%の犬が予防注射を接種したことになる。しかし、約11%の犬が注射を接種しておらず、また、国内で狂犬病の発症者が確認されたこともあり、引き続き犬の飼い主に対して予防注射実施の必要性を広報、周知していく。					
	令和2年度の目標	成果指標				目標値	単位
		狂犬病予防注射接種率				87.0	%